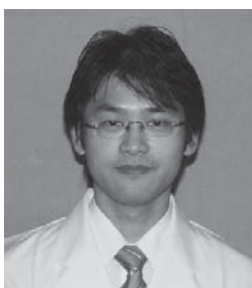


腫瘍内科



診療科長
外来化学療法
センター長
安井 久晃

専門医資格等 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医／指導医、評議員
原発不明がん診療ガイドライン作成委員
がん治療認定医機構／がん治療認定医、暫定教育医
日本内科学会 認定内科医
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 専門委員

専門分野 腫瘍内科学(臨床腫瘍学)
緩和医療

得意疾患 固形腫瘍(消化器がん)
原発不明がん

□ スタッフ

平成24年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	岡崎 俊介	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医 日本内科学会 認定内科医	腫瘍内科学(臨床腫瘍学) 緩和医療	消化器がん

□ 診療科の特徴

施設認定等 日本臨床腫瘍学会認定研修施設

1. 患者さんが納得し満足いただける医療を提供します
2. 患者さんとご家族を徹底的に支援します
3. エビデンスに基づいた最善の化学療法を行ないます
4. 化学療法と並行して、緩和医療を提供します
5. 患者さんと一緒に歩み、成長する姿勢を大切にします
6. 地域の医療機関との連携を大切にします

□ 主な対象疾患

- ・消化器がん(食道がん、胃がん、大腸がん、消化管間質腫瘍など)
- ・膵臓がん、胆道がん
- ・原発不明がん
- ・その他の固形腫瘍

□ 診療(業務)内容

- ・化学療法(がん薬物療法)の実施
- ・緩和医療の実施
- ・緩和ケアチーム参加
- ・他職種カンファレンスの実施
- ・他科からのコンサルテーション
- ・セカンドオピニオン
- ・外来化学療法センターの運営
- ・化学療法委員会の運営
- ・中心静脈ポート造設
- ・臨床試験・治療への参加

□ 診療実績(平成25年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
16.9名	412名	15.1日

外来患者数

1日平均患者数
20名

□ 地域医療連携・広報活動

摂南大学薬学部講義「腫瘍内科医が行うがん薬物療法の実際」2013年5月10日(安井久晃)

キャンサーリボンズイベント「全力討論! 図書館と病院・医療従事者の連携が始まる」2013年6月9日(安井久晃)

がんささえあいの日記念イベント「がんの情報をどう活用するか」2013年6月19日(安井久晃)

第7回がん診療セミナー(京都医療センター)「大腸がんの化学療法」2014年1月23日(安井久晃)

市民公開講座 京都市内の抗がん薬治療専門医によるがん医療の最前線「薬物療法 大腸がんについて」2014年2月22日(安井久晃)

第13回六地蔵木幡地域医療研究会「がん診療における腫瘍内科医の役割」2014年3月6日(安井久晃)

第8回がん診療セミナー(京都医療センター)「分子標的治療薬とチーム医療」2014年3月27日(安井久晃)

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国内学会	安井久晃. 乳癌患者に対するルート確保における パワーポートの有用性(ランチョンセミナー「乳癌化学療法におけるCVポートの新しいあり方」). 第21回日本乳癌学会学術集会. 2013年6月29日; 浜松
国内学会	安井 久晃, 岡崎 俊介, 田中 雅子, 荒木 則雄. Gemcitabine Followed by Concurrent Chemoradiotherapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer. (和文): ゲムシタビンを先行投与し化学放射線療法を行った局所進行膵癌患者の後方視的検討. 第11回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2013年8月30日; 仙台
国内学会	岡崎俊介, 山本鉄郎, 猪飼伊和夫, 安井久晃. ゲムシタビン(GEM), S-1の不応後にカルボプラチン+パクリタキセル(TC)が奏効した膵原発のundifferentiated carcinomaの一例. 第11回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2013年8月30日; 仙台
国内学会	安井久晃. がん化学療法における 栄養療法の重要性(パネルディスカッション「多職種による早期からのがん患者栄養療法」). 第35回日本臨床栄養学会総会(第11回大連合大会). 2013年10月5日; 京都
国内学会	臼井健, 垣田真以子, 難波多挙, 村田敬, 安井久晃, 植田洋平, 中谷理恵子, 中尾佳奈子, 立木美香, 田上哲也, 成瀬光栄, 島津章. 多発肝転移を伴う肺原発神経内分泌腫瘍による異所性ACTH産生腫瘍に対するエベロリムスの治療効果. 日本神経内分泌学会 第40回学術集会. 2013年10月25日; 宮崎

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	タイトル	著者
腫瘍内科 Vol.11, No.4, p492-494, 科学評論社, 2013年4月	がん薬物療法専門医講座 がん薬物療法専門医のための模擬テスト35	岡崎俊介
腫瘍内科 Vol.11, No.5, p602-607, 科学評論社, 2013年5月	がん薬物療法専門医講座 がん薬物療法専門医のための模擬テスト35—解答と解説—	岡崎俊介
臨床腫瘍プラクティス Vol.9, No.2, p142-147, ヴァンメディカル, 2013年5月	胃がん薬物療法の将来に向けて 4. ここが知りたい胃がん化学療法—現場ではどう対応しているのか? 1) 入院困難な患者に対してS-1+CDDPをどう適応しているか?—ハイドレーションの工夫を含めて—	岡崎俊介
がん診療UP TO DATEマニュアル, p304-320, がん診療UP TO DATEマニュアル編集委員会, 日経BP社, 2013年10月	第III章 各種がんの治療 7. 肝・胆・膵がん ②胆道がん, ③膵がん	安井久晃
Japanese Journal of Clinical Oncology Vol.43, No.11, p1080-1086, 日本癌治療学会, 2013年11月	A phase II clinical study of mFOLFOX6 plus bevacizumab as first-line therapy for Japanese advanced/recurrent colorectal cancer patients.	Nishina T, Takano Y, Denda T, Yasui H, Takeda K, Ura T, Esaki T, Okuyama Y, Kondo K, Takahashi Y, Sugiyama Y, Muro K.
肺癌 Vol.53, No.7, p888-892, 日本肺癌学会, 2013年12月	バゾパニブ投与中に続発性気胸を発症した粘液線維肉腫肺転移の1例	元石充, 岡本圭伍, 片岡瑛子, 澤井聡, 安井久晃